富士山麓に於けるツミの蕃殖に就て*

Nesting records of the Japanese Sparrow-Hawk at Mt. Fuji

高 田 武 夫

Takeo Takada

ツミ *Accipiter virgatus gularis* (Temminck et Schlegel) は、日本鳥類目録 (1942) によれば、本州・琉球諸島に蕃殖し、樺太・千島・北海道・伊豆七島・琉黄列島・小笠原群島・四国・九州・朝鮮・屋久島・奄美大島・大東列島・台湾・紅頭嶼に分布する事が知られている。

しかし本種の蕃殖に関しては従来確報がなかつたが、私は昨年 (1954) 富士山麓で、初めて本種の蕃殖の状況を調べる事が出来た。ここにその 2 例について報告する次第である。

第 1 例

観察年月日：1954 年 5 月 27 日。

営巣場所。静岡県駿東郡須走村滝ノ台。

営巣地の環境は標高 800 m で、滝ノ台に通ずる精進川下流を渡り、ゆるい傾斜の山道を北に 30 m 程行つたところで、潤葉樹にかこまれた 3 抱位の樅の大木数本と、根廻り 50 cm 位の落葉松と檜 数 10 本の混合林中の檜の地上 7 m 位の幹に近い枝上に営巣していた。

巣材は外部に枯枝を用い、産座には檜の生葉を一面に敷いてあつた。この巣は 1 羽のツミを捕獲した直後に、5 m ほどはなれたところに営巣しているものを発見したのであつた。

ツミの巣かと直感し、木に登り観察したところ、やはり今まで経験したハイタカやオオタカの巣とは、産座に使用する材料が全然違い、巣の大きさも違うので直感通りツミの産卵近い巣と思はれた。

* 資源科学研究所業績 第 762.

其の後2回観察したが、産卵もなく、巣は破損して測定は出来なかつた。

私がこれまでに調べたイヌワシ・ノスリ・オオタカ・ハイタカ等の巣では、産座一面に生葉を敷いた巣は、ここに報ずるツミの2巣以外に観察したことがない。ノスリも松や落葉松の生葉を敷くが、産座一面に使用した巣は見たことがない。

なお4月中旬、この附近でハイタカの鳴声に似たキョ、キョ、キョと云う鳴声を3回聞いたが、その鳴声はやはりツミの声であろう。

標本測定：♂ 1954年5月27日採集。翼長168mm，尾長124mm，嘴峰16mm，跗蹠50mm。

食性：胃内容物を調べた結果、アオジ1羽の嘴及び脚片，肉片，羽毛を検出した。

附記 農林省鳥獣捕獲許可証第32号により捕獲した。

第2例

観察年月日：1954年8月14日。

営巣場所。静岡県駿東郡小山町西山。

営巣地の環境は標高400m，人工造林地で、根廻り70cm位の杉林，下草はタマアジサイ・コクサギ等の灌木が疎生していた。右側10m程で東に流れる須川に接し，左側は用水路にはさまれ，牛車や人等が頻繁に往来する道端の杉に営巣していた。（口絵の矢印の合つた処が巣の位置）。

巣は地上5.5m位で，幹に近い所にあり，地上からは杉の葉にかくれて，よく見えなかつたが，第1例の巣は地上から，はつきり目撃出来た。

巣材は，第1例と同じく外部は枯枝で，産座には檜の生葉を一面に実に見事に敷いてあつた。

卵の測定 34.5×28.5mm，14.5g. 35.5×29.0mm，16.0g. 第1卵は帯青白色無紋，第2卵は帯青白色地に淡褐色の小斑が尖端にわづかにあるが，これは逆斑である。因に私の観察ではタカ類の卵には逆斑が少くない。

なおハイタカ卵は帯青白色地に褐色と淡黄色との粗大斑が鈍端部に多く，尖端には少い。次に参考のためにハイタカ卵の測定をあげれば 41.0×32.5mm，23.0g. 40.0×33.0mm，23.5g. 40.5×33.0mm，24.0g. である。

第2例構巣地は私の度々通る所で，今まで一度も鳴声を聞いたこともなく，

また見たこともなかつたが、たまたま子供達と昆虫採集の帰り午後 2 時頃 キョ、キョ、キョと鳴声を聞き、須走のツミを思いだし巣の発見が出来た。

口絵の巣卵の写真撮影中にもハイタカの場合のように鳴声も聞かれず、襲撃もなかつた。

Résumé

No substantiated nesting record for the Japanese Sparrow-hawk, *Accipiter virgatus* (Temminck & Schlegel), has hitherto been known in Japan. The writer found its nests and eggs at the foot of Mt. Fuji. Green leaves of *Chamaecyparis* were used on the sitting bed and this was the main difference from the nests of other hawks.

Locality 1. Takinodai, Subashiri-mura, Sunto-gun, Shizuoka; at 800 m. of altitude, in the mixed coniferous forest of *Abies firma*, *Chamaecyparis obtusa*, and *Larix Kappferi*. The nest was on a fork of tree trunk, 7 m. above the ground. Date: 27 May, 1954.

Locality 2. Nishiyama, Oyama-machi, Sunto-gun, Shizuoka; in the coniferous forest of *Cryptomeria japonica* (Fig. 1 and 2). Date: 14 August, 1954.

One of the eggs of this species is shown in Fig. 3, with that of *Accipiter nisus nisosimilis* (Tickell), and the measurements are:

<i>A. virgatus</i>	34.5×28.5 mm.	14.5 g.
	35.5×29.0 mm.	16.0 g.
<i>A. n. nisosimilis</i>	41.0×32.5 mm.	23.0 g.
	40.0×33.0 mm.	23.5 g.
	40.5×33.0 mm.	24.0 g.

ツミの巣と卵。1954 年 8 月 14 日静岡県駿東郡小山町に発見された(本文 25-27 頁を見よ)。

A nest and eggs of *Accipiter virgatus* found at Koyama-cho, Sunto-gun, Shizuoka, 14 August, 1954. (see p. 25).

同上ツミの巣の環境。2 本の矢印の合する所に巣がある。

The surroundings of the above nest (of *A. virgatus*), which is located at the crossing point of the two arrows.

右はツミの卵。左は比較のために示したハイタカの卵（実物大）。

Eggs of *Accipiter virgatus* (right) and *A. nisus* (left), shown for comparison (natural size).

カラフトワシ幼鳥の剥製標本。1952 年 12 月 21 日 神奈川県久里浜港内の海上に漂っていたもの (18 頁を見よ)。

A mounted specimen of *Aquila clanga*, found floating in the Kurihama Harbor, Kanagawa Pref., 21 December, 1952. (see p. 18).